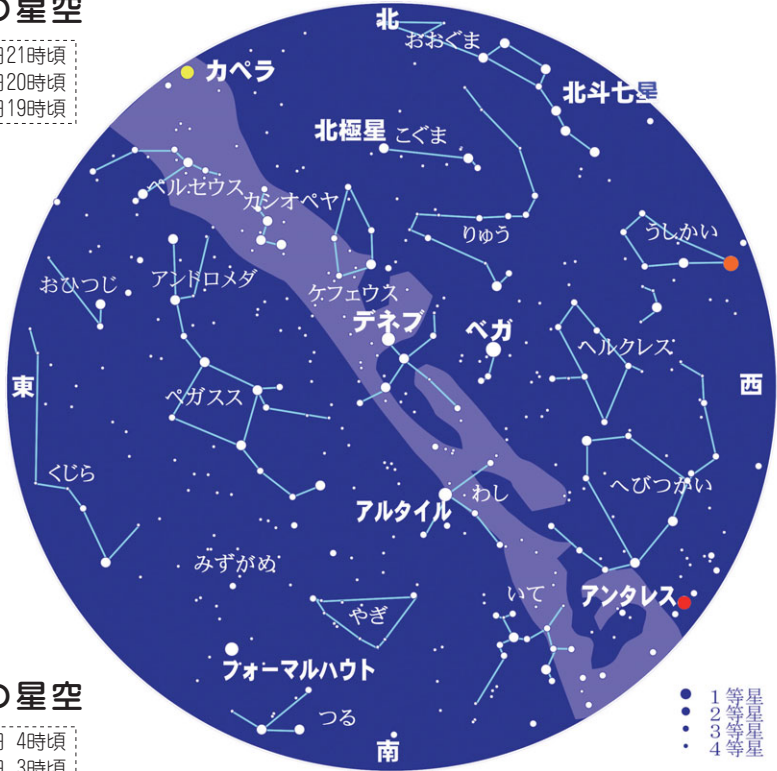




## ★星空ガイド 9月16日～10月15日

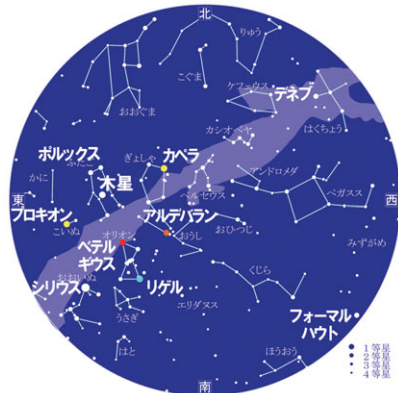
### よいの星空

9月16日21時頃  
10月1日20時頃  
15日19時頃



### あけの星空

9月16日 4時頃  
10月1日 3時頃  
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
9	16	月	5:41	18:03	15:42	1:51	10.6
	21	土	5:44	17:56	18:52	7:17	15.6
	26	木	5:48	17:49	22:28	11:58	20.6
10	1	火	5:52	17:42	2:00	15:17	25.6
	6	日	5:56	17:35	6:57	18:12	1.1
	11	金	6:00	17:29	12:04	22:38	6.1
	15	火	6:03	17:23	14:59	1:53	10.1

※惑星は2013年10月1日の位置です。

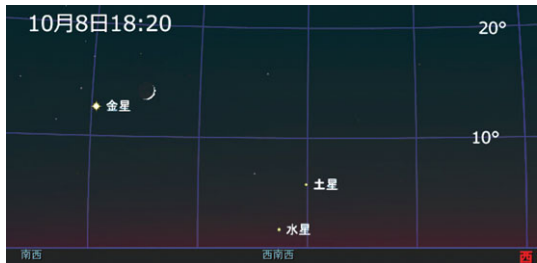
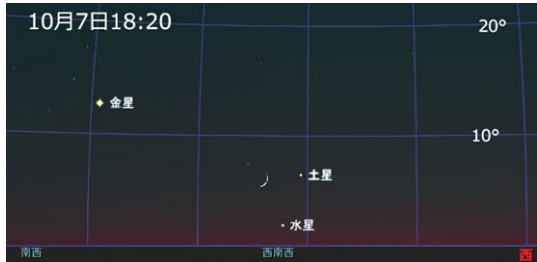
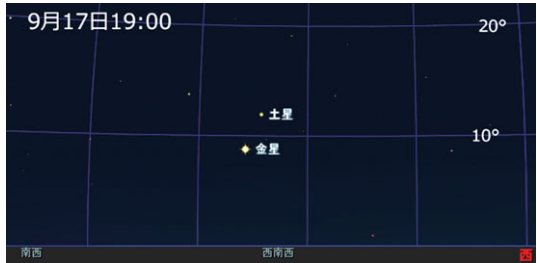
## <夕方の西の空の惑星の動きに注目>

9月後半から10月前半は、夕方の西の空で惑星の接近が次々に起こります。

まずは、9月18日には、金星と土星が接近します。その後、金星と土星は離れていき、土星は次第に太陽に近づいていくので見えづらくなっていきます。

10月に入ると、水星が土星とすれ違います。7日には、細い三日月も一緒に集まります。低空で観察することになりますので、西南西の方角の見晴らしが良い場所でチャレンジしてください。続いて8日は月と金星が並びます。

水星や金星は、動きの速い惑星なので、土星のような動きの遅い惑星とすれ違う時には、毎日位置関係が変わるのが分かります。一番接近する日だけでなく、何日が続けて観察することで、惑星の動きを実感することができるでしょう。



## [こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
9	18	水	夕方西の空で、金星と土星が約3.5°まで接近する。
	19	木	○満月(20時) / 中秋の名月
	23	月	秋分
	27	金	●下弦(13時)
10	5	土	●新月(10時)

月	日	曜	主な天文現象など
10	7	月	夕方の西の低空に、月と水星と土星が約5°の範囲に集まる
	8	火	寒露 / 夕方西の空で、月と金星が約4.5°離れて並ぶ
	9	水	水星が東方最大離角(夕方西の空で観察のチャンス)
	12	土	●上弦(8時)

飯山 青海(科学館学芸員)